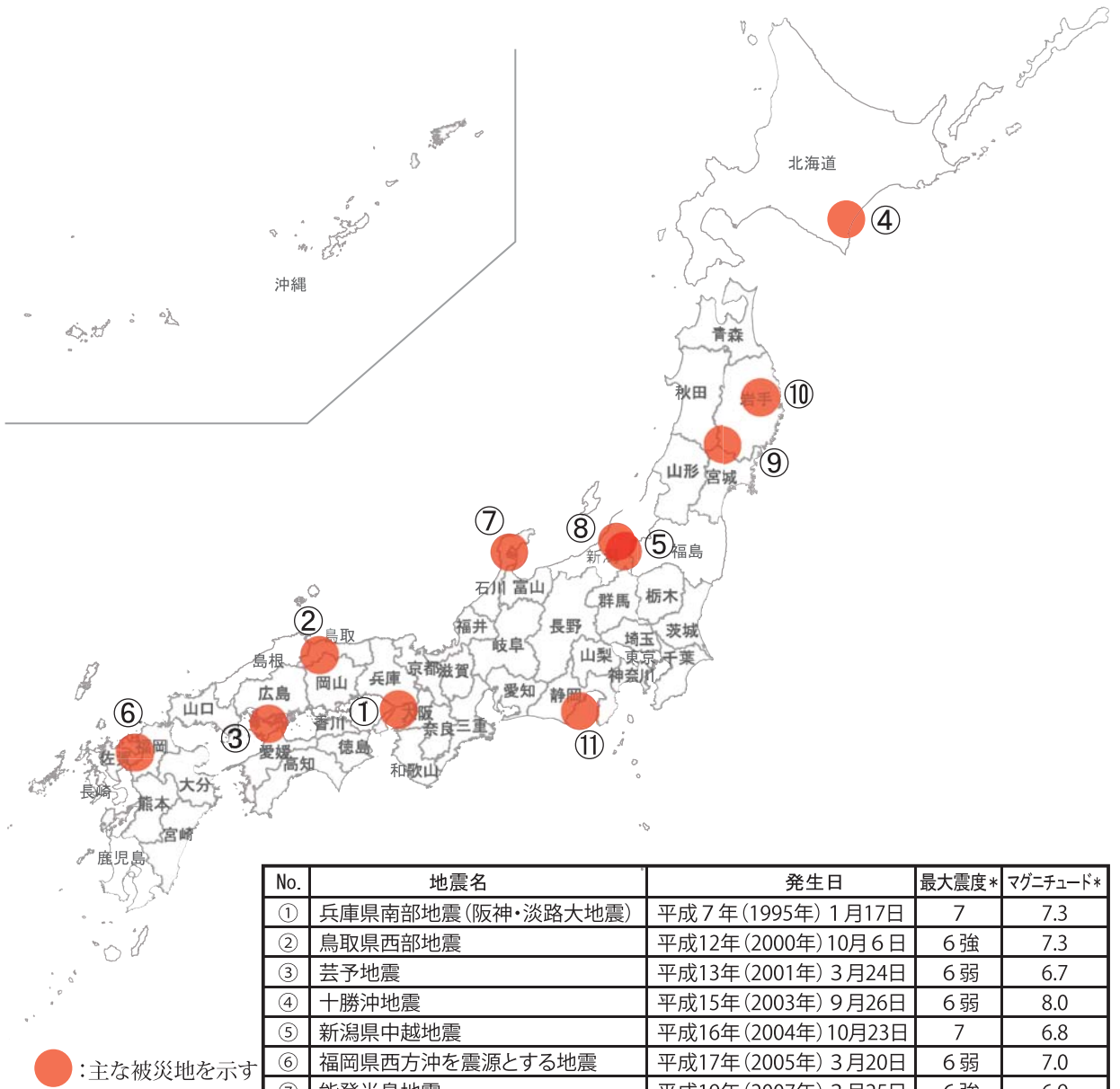


1 全国各地で地震が発生しています

世界有数の地震国である日本は、特に近年全国各地で大地震が発生しており、また今後多くの箇所地震の発生する可能性が指摘されています。

近年の主な地震の発生状況

兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）以降の主な地震の発生状況です。北海道から九州まで全国各地で発生していることがわかります。

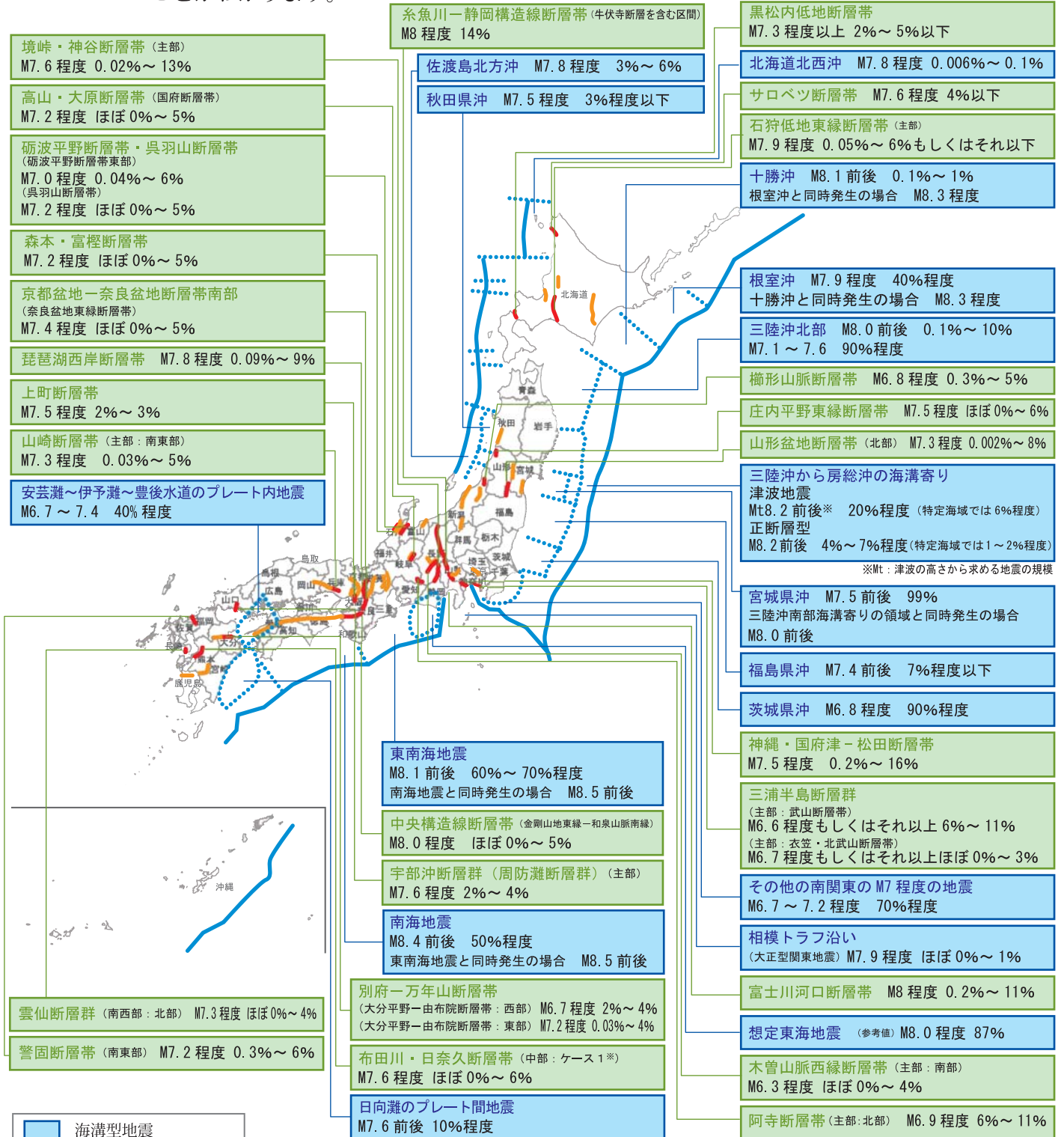


No.	地震名	発生日	最大震度*	マグニチュード*
①	兵庫県南部地震(阪神・淡路大地震)	平成7年(1995年)1月17日	7	7.3
②	鳥取県西部地震	平成12年(2000年)10月6日	6強	7.3
③	芸予地震	平成13年(2001年)3月24日	6弱	6.7
④	十勝沖地震	平成15年(2003年)9月26日	6弱	8.0
⑤	新潟県中越地震	平成16年(2004年)10月23日	7	6.8
⑥	福岡県西方沖を震源とする地震	平成17年(2005年)3月20日	6弱	7.0
⑦	能登半島地震	平成19年(2007年)3月25日	6強	6.9
⑧	新潟県中越沖地震	平成19年(2007年)7月16日	6強	6.8
⑨	岩手・宮城内陸地震	平成20年(2008年)6月14日	6強	7.2
⑩	岩手県沿岸北部を震源とする地震	平成20年(2008年)7月24日	6弱	6.8
⑪	駿河湾を震源とする地震	平成21年(2009年)8月11日	6弱	6.5

兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)以降の主な地震の発生状況

今後の地震の発生の可能性

下図は、今後30年以内に地震が発生する可能性のある箇所と、地震の規模を示しています（平成20年（2008年）1月1日現在）。北海道から九州まで全国的に分布していることがわかります。



(「地震がわかるQ&A」(文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課) をもとに作成)

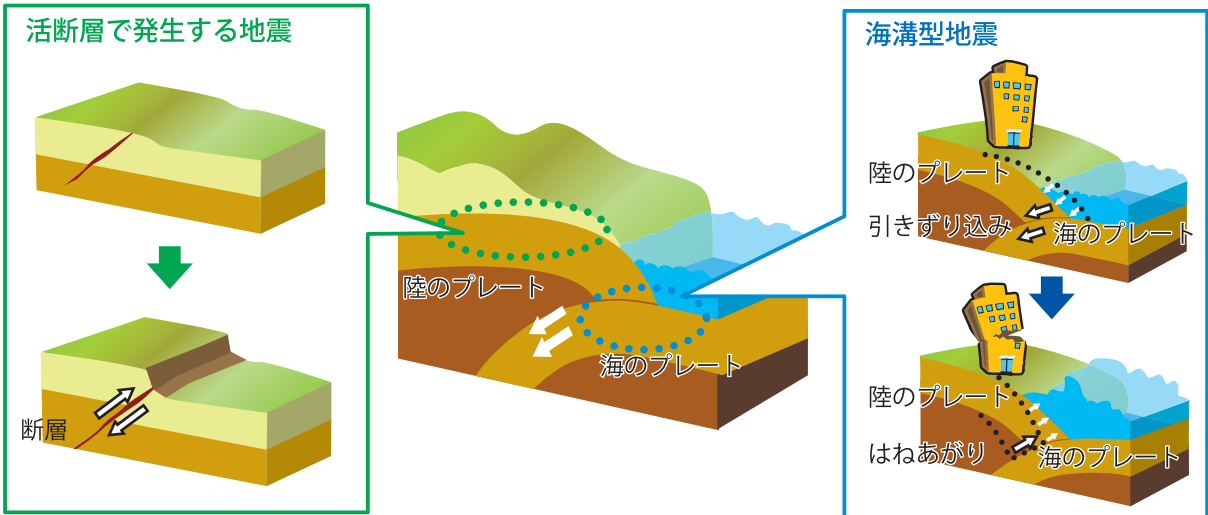
今後の地震の発生の可能性

コラム 地震のメカニズム

地球の表面は十数枚の「プレート」と呼ばれる固い岩石の層に覆われています。このプレート同士がぶつかったり、押し合ったりして、プレート内部に力が加わります。これが地震の主な原因です。代表的なものとして、活断層で発生する地震や、プレート同士の境目付近で起こる海溝型地震があります。

活断層で発生する地震は、海のプレートの動きなどによって、陸のプレート内に力が加わることで発生します。平成7年（1995年）に発生した兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）もこのタイプの地震でした。

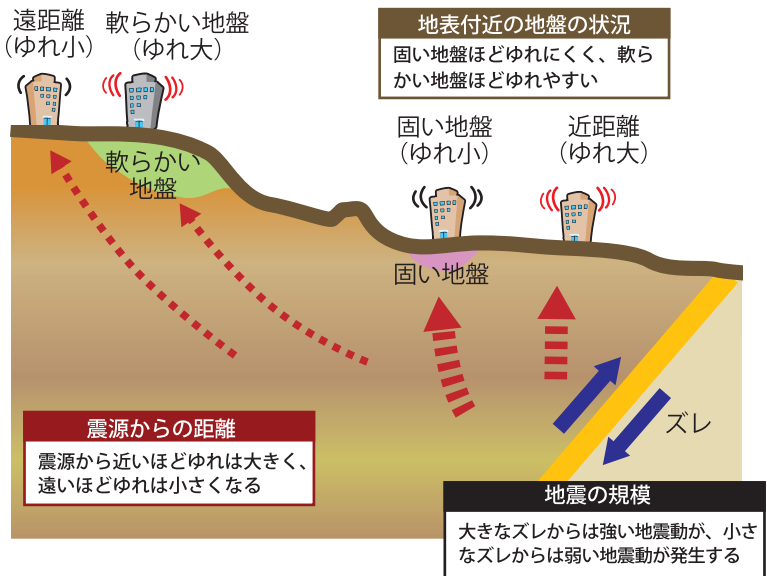
海溝型地震は、海のプレートが陸のプレートの下へ沈み込むときに、陸のプレートの先の方も下に引きずり込まれ、この陸のプレートがその力に耐えきれず、元に戻ろうとするときに発生します。このタイプの地震は、津波を伴う巨大地震となる場合があります。



（「地震を知ろう-地震災害から身を守るために-」（文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課）をもとに作成）

コラム 地震のゆれの伝わり方

地震のゆれの伝わり方はさまざまです。地震の規模、震源からの距離、地表付近の地盤の状況によって、地表でのゆれの大きさは異なります。



（「表層地盤のゆれやすさ全国マップ」（内閣府）をもとに作成）